

島根県立いわみ芸術劇場 2020 年しまね伝統芸能祭 プレ事業 「浜田ろう学校和太鼓体験授業 ～今福座和太鼓アウトリーチ～」の開催について

公益財団法人しまね文化振興財団（いわみ芸術劇場）では、2020 年開催予定の「しまね伝統芸能祭」に先がけ、子ども達に身近に芸能に触れてもらふことを目的にアーティストによる体験授業を実施します。

この度、島根県立浜田ろう学校におきまして、石見在住の太鼓打ち今福優（和太鼓集団今福座 主宰）さんによる和太鼓の継続型体験授業を下記のとおり開催いたします。

聴覚障がいを持つ子ども達が今福優さんの「音」に触れ、和太鼓の魅力を体感しながら自分達も和太鼓を叩いて音楽を楽しみます。今福優さんとの出会いと和太鼓を通じ、障がいの有無を超えて子ども達が自己表現を目指す機会と考えておりますので、ご多忙とは存じますが、取材及び報道方よろしくお願ひいたします。

記

《内容》

日 程：①2019 年 11 月 12 日（火）／②12 月 17 日（火）／③2020 年 1 月 21 日（火）

時 間：各回 10：55～12：30

会 場：島根県立浜田ろう学校 音楽室（浜田市国分町 342-2）

対 象：小学部 4 名（場合によって幼稚部、中・高等部の子ども達も参加します）

内 容：今福優さん、堂本英里さん（今福座）による演奏を聞き、和太鼓体験を行います。

計 3 回の実施を通して、和太鼓体験や和太鼓によって自分を表現する楽しさを体験します。

*スケジュールは予定ですので変更となる場合がございます。

《出演・講師》

今福優（いまふく ゆう）

島根県益田市匹見町を拠点として活動している太鼓打ち。24 歳の時に田耕（でんたがやす）氏率いる和太鼓グループ『鬼太鼓座』に入座、国内外の公演に参加。4 年後に脱退したのち、7 年間のサラリーマン生活を経て 3 尺 1 寸の大太鼓を含む太鼓一式を購入、ソロ活動を開始する。その大太鼓の打ち込みに定評があるほか、自身のふるさとに伝わる石見神楽を舞台用にアレンジした作品も数多く生み出している。2004 年～2008 年、東京で開催されてきた『青山太鼓見聞録』に出演。近年ではフランス・オーストリア・カナダ・モロッコなどへの海外遠征も行う。また、後進への指導にも力を入れており、和太鼓を通じた子供の育成や学校公演も取り組んでいる。

堂本英里（どうもと えり）

岡山県出身。1995 年に石川県で開催された太鼓フェスティバル『杵刻壱響祭』で今福優の「神祇」の演奏を観て和太鼓を始める。1998 年からの 5 年間は石川県にある浅野太鼓楽器店で太鼓製造に携わりながら和太鼓チームに所属、国内外での演奏経験を積む。2000 年より今福優に師事、石川と島根を往復しながら芸の習得に励んだのち、2003 年島根県に移住。島根県在住スタートと同時に地元道川神楽社中に在籍。保育園から中学生まで子供対象を中心とした太鼓指導も益田市、浜田市などでおこなっている。

＜その他～取材について＞

- ・取材の際には腕章をお願い致します。
- ・演奏者の方への配慮のため、カメラ撮影はノーフラッシュをお願い致します。
- ・個人情報保護のため、個人が特定できない撮影（顔のアップを避ける）にご配慮願ひします。

主催：島根県、公益財団法人しまね文化振興財団

※別途、民間の配信サービスを利用し情報発信する予定です。